

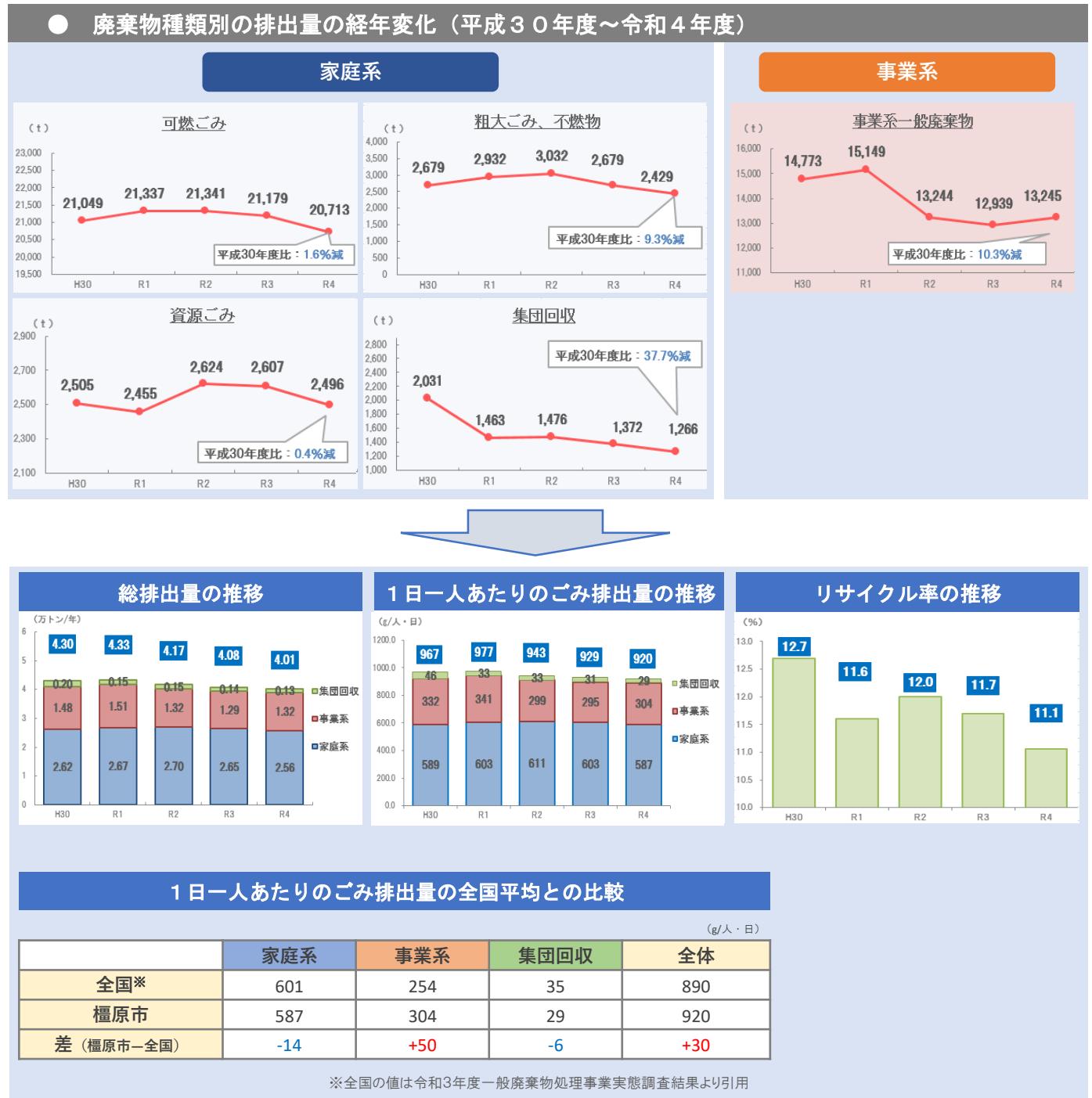
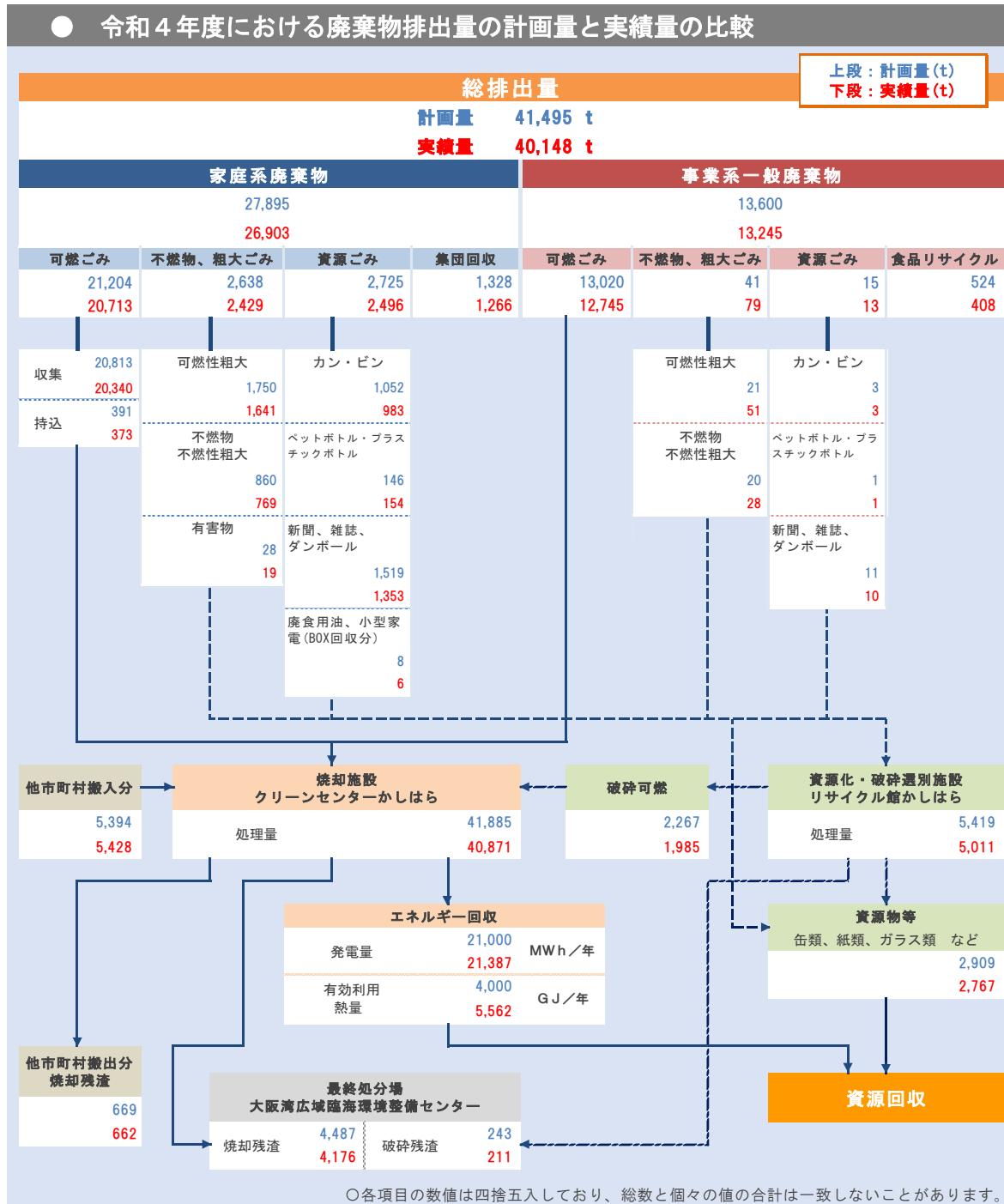
令和4年度橿原市一般廃棄物処理事業（報告）

令和4年度の橿原市一般廃棄物処理事業について、以下のとおり報告します。

1. 処理状況

本市の令和4年度における廃棄物の排出量・処理量は以下のとおりとなりました。
 家庭生活から排出された廃棄物と、事業に伴って排出された廃棄物を合わせた全体の排出量（総排出量）は40,148tであり、これは年度当初に策定した実施計画の計画量と比べ、約1,347t下回る結果となりました。

廃棄物の種類別に排出量の経年変化を見ると、令和4年度は令和3年度と比べると総排出量では約628t減少しました。
 総排出量をその年度の人口と日数で除した値（1日一人あたりのごみ排出量）は、令和4年度は920g/人・日となり、令和3年度と比べると9g減少し、全国平均（890g/人・日）と比べると30g上回る結果となりました。



2. 施策の進捗状況

(1) 排出抑制・再使用

基本方針： 排出抑制及び再使用を優先した3Rの推進

施策1 3R普及啓発事業

3Rに関する有用な情報を適切なタイミングで市民に提供します。処理施設の見学受入や出前講座の実施、不用品の還元イベントやリユースコーナーを常設し、環境について考える機会を提供します。

	R2	R3	R4
見学受入、出前講座(団体)	4	26	8
リサイクルフェア等参加人数(人)	1,022	872	1,980
ごみ分別アプリDL累計数(件)	11,370	16,377	20,730

施策2 処理手数料制度運用事業

ごみ処理費用の一部を排出者の負担とします。家庭系の可燃ごみに係る処理手数料は、有料の指定ごみ袋制度を運用します。

	R2	R3	R4
ごみ処理手数料収入(千円)	344,250	350,112	349,701
内、ごみ袋販売収入(千円)	174,102	181,597	178,697
年間ごみ袋供給枚数(万枚/年)	498	513	522

施策3 生ごみ減量化事業

減量化に関する手法や資源化に関する情報を発信し、生ごみの発生抑制とリサイクルルートへの誘導を図ります。市関連施設においても、生ごみ減量・リサイクルに取り組みます。

	R2	R3	R4
食品リサイクル量(トン)	424	429	408
生ごみ処理機器購入補助(件)	14	23	11

(2) 再生利用

基本方針： 有用資源の回収強化及び循環利用の促進

施策4 ごみ搬入受付事業

ごみ搬入時に、分別方法、持込方法、適正処理方法を案内するとともに、資源化促進の働きかけを行います。

	R2	R3	R4
クリーンセンター受付回数(回)	52,114	51,417	50,074
リサイクル館受付回数(回)	41,508	41,379	40,656

施策5 資源物処理事業

搬入された不燃ごみ及び資源物は、市処理施設で前処理を行い、適正なりサイクルルートと財源の確保に努めます。資源物の回収強化に向けた広報啓発の充実を図ります。

	R2	R3	R4
資源回収量(トン)	3,124	2,987	2,767
資源化売却益(千円)	36,334	77,188	102,368

施策6 集団回収促進事業

多くの市民が活動に参加できるような環境づくりを進めます。活動の普及促進に努め、併せて紙資源の循環強化を図ります。回収した資源物の重量に応じて市から報償金を交付し、活動を支援します。

	R2	R3	R4
登録団体数(団体)	221	221	220
資源物集団回収量(トン)	1,476	1,372	1,266

(3) 適正処理

基本方針： 効率的で適正な処理システムの構築

施策7 廃棄物等収集事業

地域特性を踏まえ、効率的にごみを収集します。ごみ排出時における利便性を高めるため、「ふれあい収集」や「リクエスト収集」を実施します。

	R2	R3	R4
可燃ごみ収集量(トン)	20,964	20,811	20,340
不燃物・粗大ごみ収集量(トン)	2,006	1,680	1,435
資源ごみ収集量(トン)	2,523	2,504	2,399

施策8 一般廃棄物収集運搬業許可事業

許可制度の運用に当たっては、廃棄物処理法に基づき、的確な審査を行い、適正に運用します。搬入物検査を実施し、適正処理を確認します。

	R2	R3	R4
許可業者数(社)	29	29	27
搬入物検査違反率(%)	0	13	0

施策9 クリーンセンターかしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。焼却余熱を利用した発電等によりエネルギーの有効活用を推進します。

(クリーンセンターかしはら)	R2	R3	R4
処理量(トン)	42,170	43,034	40,871
突発故障による休止日数(日)	0	0	0
発電電力量(MWh)	22,874	23,241	21,387

施策10 リサイクル館かしはら運営管理事業

長期包括運営委託事業を実施し、適正・安全な処理に加え、効率的な運営を実施します。3Rの啓発拠点としての役割を強化します。

(リサイクル館かしはら)	R2	R3	R4
処理量(トン)	5,777	5,348	5,011
突発故障による休止日数(日)	0	0	0

施策11 不法投棄対策事業

巡回パトロールの実施や防止看板の設置等を行い、不法投棄されにくい環境づくりに努めます。地域の力を活用した取組を推進します。

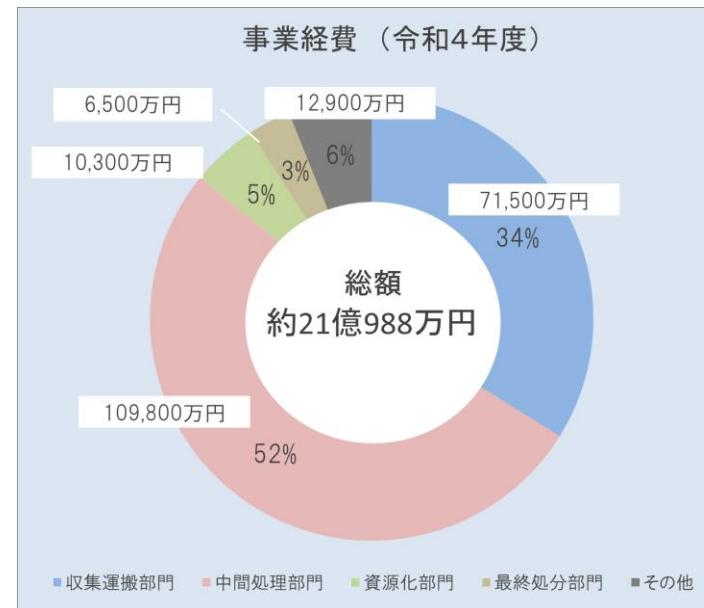
	R2	R3	R4
不法投棄件数(件)	187	97	83
不法投棄防止看板配布枚数(枚)	13	16	6

3. 事業経費(し尿処理事業を除く)

令和4年度一般廃棄物処理事業経費

約21億988万円/年

(総排出量40,148t → 1tあたり約52,600円)



(R2年度:約21億4700万円、R3年度:約21億700万円)

収集運搬部門

・廃棄物を収集し、処理施設へ運搬する経費
約7億1,500万円/年
(収集運搬量24,174t → 1tあたり約29,600円)

中間処理部門

・焼却処理、破砕処理に要する経費
約10億9,800万円/年
(処理量43,385t → 1tあたり約25,300円)

資源化部門

・資源物の選別・圧縮・保管に要する経費
約1億300万円/年
(資源化量2,503t → 1tあたり約41,200円)

最終処分部門

・焼却灰や不燃残渣等の埋立処分に要する経費
約6,500万円/年
(処分量4,387t → 1tあたり約14,800円)